



じょいんと通信

11月

第188号・湘南鎌倉人工関節センター・2021年11月

<https://www.skjrc.jp/>

★10月より着任された医師の紹介★

みなさま、はじめまして
小林大悟（こばやし だいご）と申します。



今回、股関節手術のスペシャリストが揃う
湘南鎌倉人工関節センターで働きたいという希望が通り、
晴れて10月から働かせていただくことになりました。

当院に来る前は横浜市立大学の関連病院で10年程度働いて
きました。さまざまな病院で人工股関節全置換術を経験して
きましたが、2-3週間の入院が基本でした。
ところが、当センターは5日程度の早期退院が基本であり、
手術・リハビリ・病棟管理などすべてが考え抜かれたうえで
成り立っているのだと感銘を受けております。

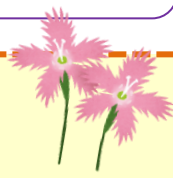
患者さんからの信頼を得られるように頑張っていきますので、
どうぞ宜しくお願い致します。

▼発行元：
湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台
5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼2021年10月手術件数
(単位:件)
人工股関節置換術：54
人工股関節再置換術：0
その他：2

▼11月休診日
・11/3 (水)
・11/23 (火)

◇10月から事務責任者に着任しました◇



10月1日付で事務責任者に就任した半田(はんだ)と申します。
湘南鎌倉人工関節センターには平成から令和に元号が変わった2019年5月に入職しました。
2年半の間で色々な事がございましたが、変わらないのは全国各地から当センターに股関節の痛みがある
患者様がお越しただけていることと、平川院長がまだまだお元気なことです。

コロナウイルス蔓延に伴い、遠方より当センターにお越しただけことが難しい時期もございましたが、
感染者数も減少傾向となっている現在は遠方の患者様からの診療予約も増えてまいりました。

緊急事態宣言下の際、当センターに診察にお越しになれない患者様とお電話でお話をさせていただくと、
手術をされた患者様やご家族が当センターを信頼していただけていることが、実感できます。

そのような場で働けている嬉しさと、早くコロナウイルス感染が収束し当センターでの診療を希望される
患者様が、不自由なく外出が出来るようになり人工股関節置換術によって「歩ける喜び」が叶うこと
を想う、この頃でございます。

最後に突然ですが、私が自戒の為に最近思い出した言葉をご紹介します。
『型を身に付けねば型破りにはなれない』型を身につけてから、破るから“型破り”って！型を身につけてから、
破るから“型破り”っていうんだよ！ 中村勘三郎 (18代目)

今は型を身につけられるよう精進してまいります。
※決して型破りな人間になりたい訳ではありません。

◆お願い◆

現在、通常通りの外来診療を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)蔓延予防のため、
外来待合室の3密を避けるため原則患者本人のみの受診にご協力をお願い致します。(初診・貯血①は除く/
症状に応じて付添は可) 皆さまのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。